

宇和米博物館～LOCA PROJECT～（愛媛県西予市）

取組概要

「米博」の愛称で呼ばれている宇和米博物館は、昭和3年（1928年）に建造された旧宇和町小学校校舎を移築し、平成3年（1991年）に開館し、約80種類の稲の実物標本や宇和地方で使われていた農耕具など、米に関する資料を展示しております。しかし、博物館としての利活用では入館者数が伸びてきたことから、平成27年（2015年）総務省の「公共施設オープン・リノベーション マッチングコンペティション」を活用し、展示、閲覧型の文化施設から、「まち」に活力を取り戻すため「しごと」を生み、「ひと」を呼び込むための「学び舎」として現役復活の施設となるよう『LOCA-PROJECT』を進めることとしました。

取組の効果

- ◆ オフィス利用者同士の人々のつながり、口コミなどで利用者増に繋がりました。
- ◆ カフェ利用者の市内外での起業への関わり支援ができました。

創意・工夫した点

- ◆ 民間の自由な発想をできるだけ実現させた点
- ◆ 大きなイベントより小さくても気配りが届く講座などを継続して行った点

他団体へのアドバイス

リノベーションする前に地元の方への説明を細かく進めながら事業を行うことが大切

人口 36,909人 (R2.4.1現在)

担当 産業部 経済振興課



① 黒板ルームでの会議



② caféセミナーの様子